

1 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【浦安キャンパス】

授業科目名（単位数）	担当教員名	開講学科	教育内容との関連
キャリアプランニングⅠ (2単位)	大黒章子 国井明範 下地信也 中井弘晃 門田薫	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム 口腔保健	一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし、ジェネリックスキル(対人基礎力と対自己基礎力)の伸長を目的として、グループディスカッションや体験学習による主体的な学習を実践している。
キャリアプランニングⅡ (2単位)	大黒章子 国井明範 下地信也 中井弘晃 門田薫	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム 口腔保健	一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし、ジェネリックスキル(対課題基礎力と対自己基礎力)の伸長を目的として、問題解決学習を実践している。
キャリアプランニングⅢ (2単位)	大黒章子 国井明範 下地信也 中井弘晃 門田薫	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム 口腔保健	一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし、ジェネリックスキル(対課題基礎力と対自己基礎力)の伸長を目的として、調査学習を実践している。
キャリアデザイン(4単位)	国井明範 下地信也 中井弘晃 門田薫	日本語 英米語 中国語 経済 不動産 ホスピタリティ・ツーリズム 口腔保健	一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与える。
ツーリズム概論(2単位)	松山豊浩	日本語 英米語 中国語 経済 不動産	自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA総合研究所の企業人講師が、日本のツーリズム(観光)全般、関連産業に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。
航空サービス論(2単位)	大蔵あかね	日本語 英米語 中国語 経済 不動産	航空業界について調査・発表できるよう、ANA総合研究所の企業人講師が、航空運送事業の基礎知識や航空業界が提供するサービスの比較・ニーズ等に関する知識を与える。
特別講義A (2単位)	二宮秀生 他	ホスピタリティ・ツーリズム	就職意識あるいは起業意識を高め、将来進むべき方向について早期に考えさせることを目的として、我が国のホスピタリティ・ツーリズム産業を代表する企業経営者のオムニバス形式による授業により、ホスピタリティ・ツーリズム産業の基礎知識を与え、それぞれの企業の考え、求める人材等について講話する。
特別講義B (2単位)	内苑孝美 他	ホスピタリティ・ツーリズム	就職意識あるいは起業意識を高め、将来進むべき方向について早期に考えさせることを目的として、我が国のホスピタリティ・ツーリズム産業を代表する企業経営者のオムニバス形式による授業により、ホスピタリティ・ツーリズム産業の基礎知識を与え、それぞれの企業の考え、求める人材等について講話する。
口腔保健学概論(2単位)	金久弥生 宮澤慶	口腔保健	歯科衛生士及び歯科医師がこれまでの実務経験を活かし口腔保健学の実践的な知識を与える。
歯科診療補助論Ⅰ(2単位)	奥村泰彦 星合愛子	口腔保健	歯科医師及び歯科衛生士がこれまでの実務経験を活かし歯科診療補助の実践的な知識を与える。

2 実務経験のある教員等による授業科目の学科別単位数【浦安キャンパス】

学部名	学科名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数
外国語学部	日本語学科	14 単位
	英米語学科	
	中国語学科	
経済学部	経済学科	
不動産学部	不動産学科	
ホスピタリティ・ツーリズム学部	ホスピタリティ・ツーリズム学部	
保健医療学部	口腔保健学科	

# キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

大黒 章子 (おおくろ あきこ)・国井 昭範 (くにい あきのり)・下地 信也 (しもじ しんや)・中井 弘晃 (なかい ひろあき)・門田 薫 (もんでん かおる)

## ■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアカウンセラーの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気づきで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

## ■ 到達目標

一般目標：①就業観を醸成するために自分の進路における選択肢となり得る職業や仕事について理解を深める。

②ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会人インタビューと職業カード】①目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューに取り組むことができる②他者のレポートと比較し自分のレポートの改善点を言語化することができる③将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。

## ■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。詳細については manaba のコンテンツに掲載するので、必ず確認しておくこと。

## ■ 評価基準・方法/フィードバック方法

(評価基準・方法)1, 成績評価の前提：全授業の 4/5 の出席、指定課題の提出 2, 指定課題の期限内提出と内容：75%、自己PRの評価：10%

3, MEIKAI SPI の模擬試験(マークシート)の実施と正解率(非言語 80%以上が合格)：15% ※成績評価についての詳細は manaba で確認すること。

(フィードバック方法) 課題等のフィードバックは、対面授業で実施する。

## ■ 教科書

オリジナル教材を使用。自己PRの添削にかかる費用として¥3,000(自己負担)を回収する。提出方法や期限については、manaba のコースニュースおよび授業コンテンツで案内するので、必ず確認すること。

## ■ 参考書

授業内で随時紹介する。

## ■ 授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	<b>授業内容：オリエンテーション(授業の目的やルール・評価方法の理解、主体的な学びの意識付けなど)</b> 事前学修 1.0hr：シラバス(特に授業ルールについて)を読んで理解し、授業に取り組むイメージをする。 事後学修 3.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する。
2 回	<b>授業内容：MEIKAI SPI の活用(目的と活用方法を理解する)</b> 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し理解しておく。 事後学修 3.5hr：MEIKAI SPI を使い練習問題等に取り組む。
3 回	<b>授業内容：将来のキャリアを考える</b> 事前学修 2.0hr：前学期に「学修の基礎 I」で受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく。 事後学修 4.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える。
4 回	<b>授業内容：目標設定とアクションプランの作成</b> 事前学修 3.0hr：将来のキャリアに向かうための目標や具体的な行動について考えておく。 事後学修 3.5hr：アクションプランを実行できるようにスケジュールリングする。
5 回	<b>授業内容：「働く」ことについて考える</b> 事前学修 3.0hr：就職ジャーナルやスタディサブリの記事を読んでおく。 事後学修 3.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む。
6 回	<b>授業内容：社会人インタビュー(目的理解と計画立案)</b> 事前学修 2.0hr：社会人のインタビュー記事を読んでおく。 事後学修 2.5hr：授業のワークで使用した社会人の記事を全て読む。
7 回	<b>授業内容：自己理解</b> 事前学修 4.0hr：自分の強みを考え、これまでの出来事を思い出し書き出しておく。 事後学修 2.5hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章化する。
8 回	<b>授業内容：自己PR作成(基礎編)</b> 事前学修 2.5hr：自分の強みを明確にし裏付けるエピソードを準備しておく。 事後学修 2.5hr：授業で書いた自己PRを読み直し改善点を明確にしておく。
9 回	<b>授業内容：自己PR作成(完成編)</b> 事前学修 4.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章化し推敲する。 事後学修 2.0hr：自己PRを完成させる。
10 回	<b>授業内容：社会人インタビューの共有</b> 事前学修 2.5hr：インタビューした社会人の職業をインターネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：他者の社会人インタビューを読み自分のインタビューと比較する。
11 回	<b>授業内容：社会人インタビューの振り返り</b> 事前学修 2.0hr：計画から実施、レポートによる報告を振り返り、改善点を挙げておく。 事後学修 2.0hr：自分の社会人インタビューの改善点を言語化し、今後の活用について考える。
12 回	<b>授業内容：職業理解①(職業カード作成・共有からの学びを振り返る)</b> 事前学修 2.5hr：インタビューした社会人の職業をスタディサブリ等で調べておく。 事後学修 2.0hr：職業カードを完成させる。
13 回	<b>授業内容：職業理解②(職業カードの相互閲覧と振り返り)</b> 事前学修 2.0hr：他者の職業カードと自分の職業カードを比較し、改善点を挙げておく。 事後学修 3.0hr：興味のある職業を複数挙げ、さらにインターネット等で調べる。
14 回	<b>授業内容：社会とキャリアを考える</b> 事前学修 2.0hr：自分の将来と職業をつなげて考えておく。 事後学修 2.5hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える。
15 回	<b>授業内容：目標の振り返りとアクションプランの改善</b> 事前学修 3.0hr：自分で設定した目標とアクションプランを振り返っておく。 事後学修 3.0hr：今回の振り返りを基に、春季休暇に取り組むことをより具体的に実践する。

# キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

大黒 章子 (おおくろ あきこ)・国井 昭範 (くにい あきのり)・下地 信也 (しもじ しんや)・中井 弘晃 (なかい ひろあき)・門田 薫 (もんでん かおる)

## ■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアカウンセラーの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、企業・団体および仕事の研究を通じて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気づきで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

## ■ 到達目標

一般目標：①企業や仕事を研究する観点を理解し、進路選択において主体的に活用できるようになる。

②ジェネリックスキル(対人基礎力、對自己基礎力、対課題基礎力)を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【企業・団体および仕事の研究】①必要な情報を理解しその情報源を探ることができる②フレームワークについて説明し活用することができる③自分の興味・関心と照らし合わせて考えることができる【自己理解】自分の強みと裏付ける出来事を文章で伝えることができる【目標設定】1 年次の目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる。

## ■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。詳細については manaba のコンテンツに掲載するので、必ず確認しておくこと。

## ■ 評価基準・方法/フィードバック方法

(評価基準・方法)1, 成績評価の前提：全授業の 4/5 の出席、指定課題の提出 2, 指定課題の期限内提出と内容：75%、自己PRの評価：10% 3, MEIKAI SPI の模擬試験(Web テスティング)の実施と正解率(非言語 80%以上が合格)：15% ※成績評価についての詳細は manaba で確認すること。

(フィードバック方法) 課題等のフィードバックは、対面授業で実施する。

## ■ 教科書

オリジナル教材を使用。自己PRの添削にかかる費用として¥3,000(自己負担)を回収する。提出方法や期限については、manaba のコースニュースおよび授業コンテンツで案内するので、必ず確認すること。

## ■ 参考書

授業内で随時紹介する。

## ■ 授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション(授業の目的や目標、評価方法・受講ルールを理解する) 事前学修 1.0hr：シラバスを読み、授業の概要や評価について理解しておく。 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する。
2 回	授業内容：MEIKAI SPI の活用(目的確認と発展的活用) 事前学修 3.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し理解しておく。 事後学修 2.0hr：MEIKAI SPI の演習に取り組む。
3 回	授業内容：将来のキャリアを考える 事前学修 2.5hr：1 年次に受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく。 事後学修 2.5hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える。
4 回	授業内容：目標設定とアクションプランの作成 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠの学修を参考に、将来のキャリアに向かうための目標や具体的な行動について考えておく。 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジュールリングする。
5 回	授業内容：商品から業界や仕事を考える 事前学修 1.5hr：気になる企業のホームページや就活サイトを見ておく。 事後学修 3.0hr：授業のワークで学修した内容を振り返っておく。
6 回	授業内容：企業・団体および仕事研究の観点を学ぶ(フレームワークと 3C 分析) 事前学修 3.0hr：フレームワーク(特に 3C 分析)について、インターネットを活用し調べておく。 事後学修 3.0hr：リンクを活用し例題企業の 3C について復習する。
7 回	授業内容：フレームワークによる企業・団体および仕事研究(4P 分析の基礎) 事前学修 3.0hr：フレームワーク(4P 分析)をインターネットで検索し情報収集する。 事後学修 3.0hr：フレームワーク(4P 分析)について、リンクを活用し復習する。
8 回	授業内容：フレームワークによる企業・団体および仕事研究(4P 分析の応用) 事前学修 3.0hr：例題企業の 4P について、インターネットを活用し調べておく。 事後学修 3.0hr：例題企業の 4P について完成させる。
9 回	授業内容：フレームワークの復習と活用理解 事前学修 1.5hr：ここまで学修したフレームワークについて復習しておく。 事後学修 2.5hr：興味のある企業のフレームワークについて調べてみる。
10 回	授業内容：フレームワークによる企業・団体および仕事研究(SWOT 分析の基礎) 事前学修 2.5hr：フレームワーク(SWOT 分析)について、インターネットを活用し調べておく。 事後学修 2.5hr：フレームワーク(SWOT 分析)について、リンクを活用し復習する。
11 回	授業内容：フレームワークによる企業・団体および仕事研究(SWOT 分析の演習) 事前学修 2.5hr：例題企業の SWOT について、インターネットを活用し調べておく。 事後学修 2.5hr：例題企業の SWOT について完成させる。
12 回	授業内容：フレームワークによる企業・団体および仕事研究(経営分析の指標で比較) 事前学修 2.5hr：経営分析の指標をインターネット等で調べておく。 事後学修 2.5hr：リンクを活用し経営分析の指標で 2 社比較を完成させる。
13 回	授業内容：社会とキャリアを考える 事前学修 2.5hr：自分の将来と企業・団体および仕事をつなげて考えておく。 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える。
14 回	授業内容：目標の振り返りとアクションプランの改善 事前学修 2.0hr：これまでの学修を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考にアクションプランを改善する。
15 回	授業内容：長期休暇に取り組む活動と行動計画の報告 事前学修 2.0hr：自分で設定した目標とアクションプランを振り返っておく。 事後学修 4.0hr：長期休暇に取り組むジェネリックスキルを伸ばすための活動を決め、行動計画を具体的に立案する。

# キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前/後

大黒 章子 (おおくろ あきこ)・国井 昭範 (くにい あきのり)・下地 信也 (しもじ しんや)・中井 弘晃 (なかい ひろあき)・門田 薫 (もんでん かおる)

## ■ 授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの成長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアカウンセラーの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学習に導く。この授業では、相手視点で課題解決に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、体験と気づきで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

## ■ 到達目標

一般目標：①相手視点を理解した上で課題解決に取り組むことができ、この体験を進路選択において主体的に活用できるようになる。

②ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力) を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【課題解決】①課題を発見することができる②課題に対する適切な解決策を複数挙げる③②を実行するための具体的な行動を挙げ実行することができる④①～③について言語化しわかりやすく伝えることができる【自己理解】完成度の高い (採用選考通過を見据えた) 自己 PR を作成できる【目標設定】キャリアプランニングⅡの目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる

## ■ 履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。詳細については manaba で確認のこと。

## ■ 評価基準・方法/フィードバック方法

(評価基準・方法)1, 成績評価の前提：全授業の 4/5 の出席、指定課題の提出 2, 指定課題の期限内提出と内容：75%、自己PRの評価：10% 3, MEIKAI SPI の模擬試験 (テストセンター) の実施と正解率 (非言語 80%以上が合格)：15% ※成績評価についての詳細は manaba で確認すること。  
(フィードバック方法) 課題等のフィードバックは、対面授業で実施する。

## ■ 教科書

オリジナル教材を使用。自己PRの添削にかかる費用として¥3,000(自己負担)を回収する。提出方法や期限については、manaba で確認のこと。

## ■ 参考書

授業内で随時紹介する。

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション (授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解) 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：シラバスと受講ルール・評価方法を読み正しく理解する
2 回	授業内容：目標設定とアクションプラン作成 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅡの目標を振り返り、キャリアプランニングⅢでの目標を考えておく 事後学修 2.5hr：インターネットを活用し、求人情報を探索する
3 回	授業内容：求人広告理解 事前学修 2.5hr：インターネットを活用し、求人情報を探索する 事後学修 4.0hr：例題企業のホームページを見て理解する
4 回	授業内容：企業の基本情報を理解する 事前学修 4.0hr：例題企業のホームページを見て掲載されている情報を把握する 事後学修 3.5hr：例題企業の就活サイトのページを読み理解する
5 回	授業内容：求める人物像理解 事前学修 3.0hr：例題企業の就活サイトのページを読み理解する 事後学修 2.0hr：複数企業の求める人物像を探索する
6 回	授業内容：求人広告作成準備 (基本情報収集) 事前学修 2.0hr：選択した企業の情報収集と分析 事後学修 2.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
7 回	授業内容：求人広告作成準備 (求める人物理解) 事前学修 2.0hr：選択した企業の求める人物像を探索する 事後学修 4.0hr：選択した企業の情報収集
8 回	授業内容：求人広告作成 (情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備) 事前学修 4.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備 事後学修 4.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
9 回	授業内容：求人広告作成 (情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備) 事前学修 4.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備 事後学修 3.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
10 回	授業内容：求人広告作成 (情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備) 事前学修 3.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備 事後学修 3.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
11 回	授業内容：求人広告作成 (情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備) 事前学修 3.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備 事後学修 3.0hr：選択した企業の情報収集と分析、企画立案、プレゼンテーション準備
12 回	授業内容：求人広告作成 (プレゼンテーションの準備) 事前学修 3.0hr：プレゼンテーションの準備を完了しておく 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションを振り返り改善点を明確にする
13 回	授業内容：求人広告発表と相互評価 事前学修 3.0hr：プレゼンテーションの評価について復習しておく 事後学修 4.0hr：チーム活動の振り返りをしておく
14 回	授業内容：求人広告の発表と相互評価・振り返り 事前学修 4.0hr：求人広告作成の振り返りをしておく 事後学修 2.0hr：求人広告作成を通じて得た学びの活用を考える
15 回	授業内容：目標とアクションプランの振り返り 事前学修 2.0hr：目標とアクションプランを振り返り言語化する 事後学修 4.0hr：春休みの行動計画を立て実践する

# キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 | 3 年次 | 4 単位 | 開講期：通

国井 昭範 (くにい あきのり)・下地 信也 (しもじ しんや)・中井 弘晃 (なかい ひろあき)・門田 薫 (もんでん かおる)

## ■ 授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアカウンセラー等の資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として支援する。受講生が納得のいく進路を決定するために就職活動の準備をする。事前準備(企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成)と実践及び振り返りにより改善を重ね就活力を伸ばす。

## ■ 到達目標

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り越え社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの向上に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】キャリアプランニングの学修を活用し就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ入社後どう貢献できるかを伝えられる【グループディスカッション・面接】選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】インターンシップに参加し早期選考につなげる

## ■ 履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること(就職活動にある程度の時間が割ける状態)が望ましい。

留学生については、日本語能力試験で N1 を取得していること。

## ■ 評価基準・方法/フィードバック方法

(評価基準・方法) 成績評価の前提条件 (詳細は manaba に掲載予定) ①授業で提出を求められる課題を全て提出すること (提出課題の期限内提出と内容: 65%) ②就活コーチや学内イベントを活用すること ③早期選考につながるインターンシップに参加すること (②と③あわせて 30%) ④ MEIKAI SPI の模擬試験 (テストセンター) の実施と正解率 (非言語 80%以上が合格): 5% (フィードバック方法) 課題等のフィードバックは、対面授業で実施する。

## ■ 教科書

オリジナル教材を使用。自己分析・適職発見テストにかかる費用(自己負担)を回収する。提出方法や期限については、manaba のコースニュースおよび授業コンテンツで案内するので、必ず確認すること。

## ■ 参考書

授業内で随時紹介する。

## ■ 授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション(履修登録のルールを理解し正しく手続きする) 事前学修 1.0hr: シラバスを読み理解しておく。 事後学修 3.0hr: 資料を読み返し、正しく履修登録の手続きをする。	16 回	授業内容：インターンシップを振り返る 事前学修 2.0hr: 夏季休暇中の活動について伝えられるようにしておく。 事後学修 4.0hr: 夏季インターンシップのエピソードを仕上げる。
2 回	授業内容：就職活動のスケジュールを知る 事前学修 2.0hr: 就職活動の流れについて調べておく。 事後学修 2.5hr: 就活サイトで企業情報を見ておく。	17 回	授業内容：目標とアクションプランの振り返り 事前学修 4.0hr: 自分で設定した目標を確認しアクションプランを振り返る。 事後学修 3.0hr: 授業で確認した改善点の具体的な行動を考え決める。
3 回	授業内容：採用選考(応募書類や面接)について理解する 事前学修 2.0hr: 就活サイト等で採用選考についての記事を読む。 事後学修 4.0hr: 就活サイト等で企業の選考プロセスを確認する。	18 回	授業内容：採用環境(就職活動の環境)の現状を理解する 事前学修 2.5hr: 新聞やニュースで新卒採用についての記事を探し読んでおく。 事後学修 3.0hr: 採用環境の現状を踏まえ行動計画を見直す。
4 回	授業内容：就活の軸を言語化する 事前学修 4.0hr: になりたい社会人像を考えておく。 事後学修 4.0hr: 就職活動における行動計画を立てる。	19 回	授業内容：アセスメントを活用した自己理解 事前学修 3.0hr: これまでに作成した自己 PR を読み直す。 事後学修 4.0hr: アセスメントの結果を参考に自分の強みを考える。
5 回	授業内容：採用環境(就職活動の環境)を理解する 事前学修 4.0hr: 新聞やニュースで新卒採用についての記事を探し読んでおく。 事後学修 3.0hr: 採用環境を踏まえ、行動計画を修正する。	20 回	授業内容：就活の軸探索ワーク 事前学修 4.0hr: これまでの授業を振り返り、就活の軸を言語化しておく。 事後学修 3.0hr: 授業のワークを参考に、就活の軸を再検討する。
6 回	授業内容：企業情報の収集(インターンシップ応募準備) 事前学修 3.0hr: 就活サイトで企業情報を読んでおく。 事後学修 2.5hr: 授業で得たアドバイスやヒントを活用し企業情報を調べる。	21 回	授業内容：仕事研究セミナー振り返り 事前学修 4.0hr: 仕事研究セミナーで得たことを振り返る。 事後学修 4.0hr: 仕事研究セミナーで得た情報や知識を活用し業界・企業研究する。
7 回	授業内容：業界・企業・仕事の研究(インターンシップ応募準備) 事前学修 2.5hr: 企業が掲載しているインターンシップ情報を調べる。 事後学修 3.0hr: 授業で得たアドバイスを活用しインターンシップ情報を探す。	22 回	授業内容：OBOG セミナー参加企業の情報収集・分析 事前学修 3.0hr: 今までの OBOG セミナーに参加した企業について調べておく。 事後学修 2.5hr: OBOG セミナーに参加する企業について調べる
8 回	授業内容：自己 PR・志望動機の作成準備(インターンシップ選考準備) 事前学修 3.0hr: キャリアプランニングで作成した自己 PR(データ)を確認する。 事後学修 2.0hr: インターンシップの応募を見据え自己 PR や志望動機を作成する。	23 回	授業内容：OBOG セミナー参加 事前学修 4.0hr: 身だしなみを整え、OBOG セミナーに参加する企業について調べる。 事後学修 2.5hr: OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る。
9 回	授業内容：グループディスカッション対策(インターンシップ選考準備) 事前学修 2.0hr: 就活サイトでグループディスカッションについて調べる。 事後学修 4.0hr: グループディスカッションの練習ができるイベントを探す。	24 回	授業内容：OBOG セミナー参加の振り返り 事前学修 2.5hr: OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る。 事後学修 3.0hr: 企業や仕事について知りたことを整理しておく。
10 回	授業内容：面接対策(インターンシップ選考準備) 事前学修 4.0hr: 就活サイトで面接について調べる。 事後学修 3.0hr: 面接練習を振り返り、就活コーチのイベントを確認する。	25 回	授業内容：選考準備(自己 PR・ガクチカ等) 事前学修 3.0hr: OBOG セミナーの経験を活かし、就活の準備をする。 事後学修 3.0hr: 採用選考を見据えて自己 PR やガクチカを仕上げる。
11 回	授業内容：インターンシップ参加体験 事前学修 3.0hr: 企業のインターンシップのプログラム情報を調べる。 事後学修 3.5hr: インターンシップに参加するにあたって必要なことを整理する。	26 回	授業内容：選考準備(志望動機) 事前学修 3.0hr: 採用選考を見据えて志望動機を書いてみる。 事後学修 3.0hr: 志望動機を仕上げる、先輩への質問を準備する。
12 回	授業内容：就職活動準備の振り返りと改善 事前学修 3.5hr: 企業選択や応募・選考準備における改善点を明確にしておく。 事後学修 4.0hr: 授業での学修を手掛かりにインターンシップ応募を進める。	27 回	授業内容：先輩に学ぶ(内定した 4 年生に就職活動について学ぶ) 事前学修 3.0hr: 志望動機を仕上げる、先輩への質問を準備する。 事後学修 3.0hr: 自分の就職活動を見直し準備する。
13 回	授業内容：インターンシップ実践報告 事前学修 4.0hr: インターンシップの進捗状況を伝えられるようにしておく。 事後学修 4.0hr: 授業での学修を手掛かりにインターンシップ応募を進める。	28 回	授業内容：就活スキルトレーニング② 事前学修 2.5hr: 自分の就職活動の進捗を整理して伝えられる準備をする。 事後学修 3.0hr: 授業で明確になった面接における自分の課題に対する準備をする。
14 回	授業内容：先輩(内定した 4 年生)に学ぶ 事前学修 4.0hr: これまでの就職活動を振り返り、悩みや疑問を言語化しておく。 事後学修 3.0hr: 授業での学修をヒントにし、今後の行動計画を立てる。	29 回	授業内容：就活スキルトレーニング③ 事前学修 3.0hr: 応募書類、面接における自分の課題に対する準備をする。 事後学修 3.0hr: 就職活動における選考準備を進める。
15 回	授業内容：夏季休暇に取り組み活動・行動計画の実践報告 事前学修 3.0hr: 就職活動における行動計画と進捗を伝えられるようにする。 事後学修 3.0hr: 夏季休暇中の活動について伝えられるようにしておく。	30 回	授業内容：就職活動振り返り 事前学修 3.0hr: 就職活動の進捗を整理し、伝えられるように準備する。 事後学修 3.0hr: 授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する。

# ツーリズム概論

開講学科等：日英中経不 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山 豊浩 (まつやま とよひろ)

## ■ 授業の概要

人口減少社会の到来とともに日本のツーリズム (観光) は大きな転換期を迎え、産業全体もその裾野が益々広がっている。近年は訪日外国人旅行者 (インバウンド) が急増し、その大きな経済効果に期待が集まる一方で、低迷する国内旅行需要の底上げを含め、地方創生や新たな社会システム構築等の様々な動きも注目されている。

現在は新型コロナウイルス感染拡大により産業全体が甚大な影響を受けているが、本講座では「概論」の主旨に基づき、ニュース記事や VTR 等も活用しながらツーリズム全般を身近にわかりやすく学び、コロナ後やコロナとの共存時代にあらためて日本が目指す「観光立国」への諸課題や将来の姿について多面的に考察する。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

## ■ 到達目標

一般目標：日本のツーリズム (観光) 全般および関連産業に関する基本知識、その現状と課題を理解し、経済的・社会的な観点から自身の考えとともに説明する能力を修得する。

個別目標：①「観光立国」への道を進む日本社会において自身が担う役割を明確にイメージでき、今後の職業や日常生活をとらして社会に貢献することができる。

② ツーリズム関連産業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

## ■ 履修条件

・日本のツーリズム (観光) 全般、ツーリズムにかかわる社会動向や関連産業に関心がある学生

・ツーリズム関連産業への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生

ほか、学部・学科を問わず、「観光」そのものや「観光業界」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

## ■ 評価基準・方法／フィードバック方法

・期末試験 (もしくは期末レポート)：40%

・課題の取組：グループワーク (もしくは課題レポート)(2 回) 30%

・授業の取組：出席状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、コメントシートの記述、TOPIC 発表等 30%

以上、合計 100%にて総合的に評価する。

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

## ■ 教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配布する。

## ■ 参考書

適宜、参考書籍等を紹介する。

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	<b>授業内容：ガイダンス 講座計画と授業の進め方</b> 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2 回	<b>授業内容：観光の定義と意義</b> 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3 回	<b>授業内容：日本の旅行・観光に関する全体把握 I 「観光立国」への道と政策ビジョン</b> 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4 回	<b>授業内容：日本の旅行・観光に関する全体把握 II 国内旅行・海外旅行・訪日外国人旅行等の動向</b> 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
5 回	<b>授業内容：グループワーク I 日本の旅行・観光の現状と課題を考える</b> 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
6 回	<b>授業内容：観光の歴史とツーリズムの広がり</b> 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7 回	<b>授業内容：観光資源と観光地 I 分類と特徴</b> 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
8 回	<b>授業内容：観光資源と観光地 II 世界遺産と観光資源の保全</b> 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9 回	<b>授業内容：現代のツーリズムと新しい潮流</b> 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10 回	<b>授業内容：グループワーク II これからの観光立国推進を考える</b> 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
11 回	<b>授業内容：ツーリズム業界研究 I エアライン①</b> 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
12 回	<b>授業内容：ツーリズム業界研究 II エアライン②</b> 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
13 回	<b>授業内容：ツーリズム業界研究 III 旅行・宿泊・テーマパーク</b> 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。

14 回	<b>授業内容：ツーリズム業界研究Ⅳ 旅行・宿泊・テーマパーク</b> 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしぐみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
15 回	<b>授業内容：講座レビュー / まとめ</b> 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。



# 航空サービス論

開講学科等：日英中経不 | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム

大蔵 あかね (おおくら あかね)

## ■ 授業の概要

航空運送事業に興味と関心を持ち、航空機に関わる業務と空港業務の具体的な仕事内容を理解する。航空会社がお客様へ提供するサービスを多方面から研究し、そこに携わるスタッフのホスピタリティマインドとチームワークについても理解を深める。また、コロナウィルスで変化する航空会社のサービスについても考察する。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する

## ■ 到達目標

- 一般目標：・航空運送事業の基礎知識を有し、業務やサービスの多様性を理解できる。  
・航空会社が提供するサービスの比較やニーズを考察することができる。  
・実務社会で求められるチームワークとコミュニケーションの重要性を意識することができる。
- 個別目標：・航空業界について興味のある分野を調査し、自身の見解を述べるすることができる。  
・発表やディスカッションに必要な情報を適切に収集し、まとめることができる。

## ■ 履修条件

航空運送事業、並びに航空関連会社で働くスタッフ、空港で働くスタッフに興味と関心を持つ学生。

## ■ 評価基準・方法／フィードバック方法

- ・授業への参加姿勢及び授業内での発言など 30 %、
- ・授業後ミニツツペーパー 30%
- ・小テスト 20%
- ・知識確認テスト(最終回) 20%

以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

課題等のフィードバックは、各回の授業において、もしくは学修支援システム manaba を通して行う。

## ■ 教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。

また DVD などの映像も使用する。

## ■ 参考書

ANA 総合研究所編集 『エアラインオペレーション入門改訂版』ぎょうせい社(2015)

ANA 総合研究所著 『航空産業入門』東洋経済新報社(2017)

## ■ 授業内容と授業外(事前・事後)の学修及び学修目安時間

1 回	<b>授業内容：オリエンテーション(受講に際しての心構え)</b> 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心とともに、全 15 回の授業内容について確認する。 事後学修 2.0hr：授業で学ぶ範囲と内容、授業への取り組み方について考える。
2 回	<b>授業内容：航空運送事業の特性</b> 事前学修 2.0hr：航空運送事業について、自ら調べ予習を行う。 事後学修 2.0hr：航空運送事業の特性とお客様に提供するサービスについて理解する。
3 回	<b>授業内容：保安・安全は航空会社の基盤</b> 事前学修 2.0hr：航空会社の安全対策に関心を持ち、安全運航について考える。 事後学修 2.0hr：安全運航のための取り組み、保安と安全の重要性を認識する。
4 回	<b>授業内容：オペレーション業務</b> 事前学修 2.0hr：航空会社の定時出発率について調べてくる。 事後学修 2.0hr：航空会社の提供する安全・定時・快適性について理解する。
5 回	<b>授業内容：販売・予約・コールセンター業務</b> 事前学修 2.0hr：航空券の販売、予約方法について調べてくる。 事後学修 2.0hr：販売部門、コールセンタースタッフの提供するサービスを理解する。
6 回	<b>授業内容：グラウンドスタッフ</b> 事前学修 2.0hr：グラウンドスタッフの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：グラウンドスタッフの業務と役割について学び理解する。
7 回	<b>授業内容：グラウンドハンドリング</b> 事前学修 2.0hr：グラウンドハンドリング業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：グラウンドハンドリング業務と役割について学び理解する。
8 回	<b>授業内容：ケータリング</b> 事前学修 2.0hr：興味のある航空会社の機内食について調べてくる。 事後学修 2.0hr：ケータリング事業、並びに携わるスタッフについて学び理解する。
9 回	<b>授業内容：航空機と清掃業務</b> 事前学修 2.0hr：航空機の清掃方法について調べてくる。 事後学修 2.0hr：航空機の清掃、機内清掃について学び理解を深める。
10 回	<b>授業内容：客室乗務員</b> 事前学修 2.0hr：客室乗務員の業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：客室乗務員の業務と役割について学び理解する。
11 回	<b>授業内容：運航乗務員と運行管理者</b> 事前学修 2.0hr：運航乗務員に必要な能力について調べてくる。 事後学修 2.0hr：運航乗務員と運行管理者の業務と役割について学び理解を深める。
12 回	<b>授業内容：航空機整備士</b> 事前学修 2.0hr：航空機整備士の国家資格について調べてくる。 事後学修 2.0hr：整備士、航空機整備の種類について学び理解を深める。
13 回	<b>授業内容：航空貨物事業</b> 事前学修 2.0hr：郵送物の配送方法について調べてくる。 事後学修 2.0hr：航空貨物の特徴と役割、携わるスタッフについて学び理解を深める。
14 回	<b>授業内容：エアラインサービスの多様化(マイルージ・サービスとアライアンス・LCC)</b> 事前学修 2.0hr：世界 3 大アライアンスについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：マイルージ・サービスとアライアンスの必要性と意義について学び理解を深める。

---

15 回	<b>授業内容：知識確認テスト</b> 事前学修 2.0hr：授業内容について振り返りを行う。 事後学修 2.0hr：テスト内容について振り返りを行う。
---------	--

---

# 特別講義 A

開講学科等：HT | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：2020 年度以降入学生のみ履修可能

二宮 秀生 (にのみや ひでお)

## ■ 授業の概要

この授業は、ホスピタリティ・ツーリズム(HT)産業を中心とした様々な企業の幅広い層の講師陣(経営トップから若手社員まで)によるオムニバス形式で行われる。各社の考えや各講師それぞれの試行錯誤などの体験談、学生へのメッセージなどを直に聞くことで、学生が社会人への意識を高め、将来の方向について深く考えることにつなげる。

なお、講師については、それぞれの都合により期中に変更される場合がある。

## ■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：HTM1)

一般目標：実際の企業の取組みや個人の取組みを知り、社会が必要としている人材像を知ること。

個別目標：自分の将来について自分で考え、なりたい自分をより具体的にイメージできるようになること。

## ■ 履修条件

外部からの講師陣なので、HT 学部の名に恥じない言動。必ずスーツ着用で授業に臨むこと。

## ■ 評価基準・方法／フィードバック方法

出席・参加姿勢 20 %、課題レポート 30 %、試験 50 %、を総合的に評価する。

5 分の 4 以上の出席を前提とし、欠席は減点する。

5 分の 4 以上のレポート提出を前提とし、未提出および提出の遅延は減点する。

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

## ■ 教科書

特になし

## ■ 参考書

適宜紹介する。

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション 事前学修 0.5hr：授業の予習 事後学修 0.5hr：授業の復習
2 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
3 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
4 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
5 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
6 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
7 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
8 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
9 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
10 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
11 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
12 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
13 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
14 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
15 回	授業内容：まとめ 事前学修 1.0hr：授業の予習 事後学修 1.0hr：授業内容の復習

# 特別講義 A

開講学科等：HT | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後 | 備考：2019 年度以前入学生のみ履修可能

二宮 秀生 (にのみや ひでお)

## ■ 授業の概要

この授業は、ホスピタリティ・ツーリズム(HT)産業を中心とした様々な企業の幅広い層の講師陣(経営トップから若手社員まで)によるオムニバス形式で行われる。各社の考えや各講師それぞれの試行錯誤などの体験談、学生へのメッセージなどを直に聞くことで、学生が社会人への意識を高め、将来の方向について深く考えることにつなげる。

なお、講師については、それぞれの都合により期中に変更される場合がある。

## ■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：HTM1)

一般目標：実際の企業の仕組みや個人の仕組みを知り、社会が必要としている人材像を知ること。

個別目標：自分の将来について自分で考え、なりたい自分をより具体的にイメージできるようになること。

## ■ 履修条件

外部からの講師陣なので、HT 学部の名に恥じない言動。必ずスーツ着用で授業に臨むこと。

## ■ 評価基準・方法／フィードバック方法

出席・参加姿勢 20 %、課題レポート 30 %、試験 50 %、を総合的に評価する。

5 分の 4 以上の出席を前提とし、欠席は減点する。

5 分の 4 以上のレポート提出を前提とし、提出の遅延は減点する。

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

## ■ 教科書

特になし

## ■ 参考書

適宜紹介する。

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション 事前学修 0.5hr：授業の予習 事後学修 0.5hr：授業の復習
2 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
3 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
4 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
5 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
6 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
7 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
8 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
9 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
10 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
11 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
12 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
13 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
14 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
15 回	授業内容：まとめ 事前学修 1.0hr：授業の予習 事後学修 1.0hr：授業内容の復習

# 特別講義 B

開講学科等：HT | 2 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：2020 年度以降入学生のみ履修可能

内苑 孝美 (うちでの たかみ)

## ■ 授業の概要

この授業は、わが国のホスピタリティ産業を代表する企業の経営トップによるオムニバス形式で行われる。それぞれの企業の考え、求める人材等について経営トップから直に聞くことにより、各業界の基礎知識を修得すると同時に、就職意識或いは起業意識を高め、将来の進むべき方向について早期に考えさせることを目的とする。

## ■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：HTM1)

一般目標：業界および企業の基礎知識や必要としている人材像を知ることができる。

個別目標：自分の将来について自分で考えることが出来るようになること。

## ■ 履修条件

講師陣が HT 業界を代表する経営トップなので、HT 学部の名に恥じない言動、服装(原則としてスーツ着用)で授業に臨むこと。

## ■ 評価基準・方法／フィードバック方法

出席・参加姿勢 20 %、課題レポート 30 %、試験 50 %、を総合的に評価する。

5 分の 4 以上の出席を前提とし、欠席は減点する。

5 分の 4 以上のレポート提出を前提とし、未提出および提出の遅延は減点する。manaba にてフィードバックします。

## ■ 教科書

特になし

## ■ 参考書

適宜紹介する。

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション 事前学修 0.5hr：授業の予習 事後学修 0.5hr：授業の復習
2 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
3 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
4 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
5 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
6 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
7 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
8 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
9 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
10 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
11 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
12 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
13 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
14 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
15 回	授業内容：まとめ 事前学修 1.0hr：授業の予習 事後学修 1.0hr：授業の復習

# 特別講義 B

開講学科等：HT | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前 | 備考：2019 年度以前入学生のみ履修可能

内苑 孝美 (うちでの たかみ)

## ■ 授業の概要

この授業は、わが国のホスピタリティ産業を代表する企業の経営トップによるオムニバス形式で行われる。それぞれの企業の考え、求める人材等について経営トップから直に聞くことにより、各業界の基礎知識を修得すると同時に、就職意識或いは起業意識を高め、将来の進むべき方向について早期に考えさせることを目的とする。

## ■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：HTM1)

一般目標：業界および企業の基礎知識や必要としている人材像を知ることができる。

個別目標：自分の将来について自分で考えることが出来るようになること。

## ■ 履修条件

講師陣が HT 業界を代表する経営トップなので、HT 学部の名に恥じない言動、服装(原則としてスーツ着用)で授業に臨むこと。

## ■ 評価基準・方法/フィードバック方法

出席・参加姿勢 20 %、課題レポート 30 %、試験 50 %、を総合的に評価する。

5 分の 4 以上の出席を前提とし、欠席は減点する。

5 分の 4 以上のレポート提出を前提とし、未提出および提出の遅延は減点する。

manaba にてフィードバックする。

## ■ 教科書

特になし

## ■ 参考書

適宜紹介する。

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	授業内容：オリエンテーション 事前学修 0.5hr：授業の予習 事後学修 0.5hr：授業の復習
2 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
3 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
4 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
5 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
6 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
7 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
8 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
9 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
10 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
11 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
12 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
13 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
14 回	授業内容：特別講師による講義 事前学修 1.0hr：講師および講師所属の企業・団体等を事前に調べる。 事後学修 1.0hr：授業内容の復習
15 回	授業内容：まとめ 事前学修 1.0hr：授業の予習 事後学修 1.0hr：授業の復習

# 口腔保健学概論

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：前

青山 旬 (あおやま ひとし)・金久 弥生 (かねひさ やよい)・宮澤 慶 (みやざわ けい)

## ■ 授業の概要

歯科衛生士は、歯科疾患の予防処置、歯科診療補助および歯科保健指導を主な業務とする専門職であり、保健・医療・福祉に幅広く関わる職種であることを理解するとともに、論理的思考、医療倫理、医療安全管理およびチーム医療等について教授する。また、歯科衛生士は口腔の健康を通じて全身の健康を保持・増進する職業であることを理解するとともに、自身が目標とする歯科衛生士像を明確化し、能動的に立案した学修目標にもとづく学修計画にしたがって自らの理想とする歯科衛生士像を叶えられる学修行動を実践できるよう教授する。  
なお、本講座は、歯科医師又は歯科衛生士の資格を有する講師が担当する。

## ■ 到達目標（ディプロマ・ポリシー：②/④）

一般目標：口腔保健の専門家としてのマインドや職業倫理を理解し、国内外における対象者の健康に寄与するために必要な基本的知識・態度、専門的技術を学修する。

個別目標：  
・ 歯科衛生士の概要を説明できる  
・ 歯科衛生士の業務を説明できる  
・ 歯科衛生士業務の進め方を説明できる  
・ 医療倫理について説明できる  
・ 医療安全について説明できる  
・ チーム医療について説明できる  
・ 歯科衛生士の社会的役割について理解する

## ■ 履修条件

口腔保健学および歯科衛生士の専門性について初めて学習する科目であるため、遅刻・欠席をしないよう体調管理に務めること

## ■ 評価基準・方法／フィードバック方法

定期試験 50 %、課題およびレポート等 30 %、講義態度および発言等 20 %の結果及び到達目標の達成度にもとづき総合的に評価する  
また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、総合的に評価する。

## ■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論」医歯薬出版株式会社 2012 年

## ■ 参考書

必要に応じて講義内で紹介する

## ■ 授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	<b>授業内容：ガイダンス、口腔保健学とは、歯科衛生士の歴史</b> 事前学修 1.0hr：教科書 1 章①②を読み、歯科衛生学とはについて学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
2 回	<b>授業内容：医療および歯科医療と歯科衛生の背景、海外における歯科衛生士</b> 事前学修 1.0hr：教科書 2 章①②、8 章を読み、歯科衛生士の誕生と経緯、歯科衛生の背景、海外における歯科衛生士について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
3 回	<b>授業内容：EBM(Evidence Based medicine)：資料検索等のガイダンス</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、次回講義資料について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
4 回	<b>授業内容：歯科衛生士法と業務、役割と展望</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 2 章③④を読み、業務の現状、役割と展望について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
5 回	<b>授業内容：歯科衛生活動のための理論Ⅰ：予防の概念</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 3 章①を読み、予防の概念について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
6 回	<b>授業内容：歯科衛生士と医療倫理Ⅰ：倫理の必要性、医の倫理と患者の権利、歯科衛生と倫理</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書教科書 6 章①②③を読み、倫理の必要性、医の倫理と患者の権利、歯科衛生と倫理について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
7 回	<b>授業内容：歯科衛生活動のための理論Ⅱ：歯科衛生の考え方-科学的思考-</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 3 章②を読み、歯科衛生の考え方-科学的思考-について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
8 回	<b>授業内容：歯科衛生士と安全管理</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 5 章④を読み、安全管理について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
9 回	<b>授業内容：歯科衛生士業務の現状(専門領域)</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 2 章③、7 章②を読み、業務の現状、歯科衛生士の活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
10 回	<b>授業内容：歯科衛生士と医療倫理Ⅱ：自己決定権の尊重、インフォームドコンセント、倫理の適応</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 6 章④⑤⑥を読み、自己決定権の尊重、インフォームドコンセント、倫理の適応について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
11 回	<b>授業内容：歯科衛生士業務の役割と展望(ライフステージ)</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 2 章③、7 章②を読み、業務の現状、歯科衛生士の活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
12 回	<b>授業内容：歯科衛生士業務の役割と展望(生活・療養環境)</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 2 章③、7 章②を読み、業務の現状、歯科衛生士の活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
13 回	<b>授業内容：歯科衛生活動の場：歯科診療所、歯科関連企業</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 7 章②を読み、歯科衛生活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
14 回	<b>授業内容：歯科衛生活動の場：行政機関</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 7 章②を読み、歯科衛生活動の場について学習しておく 事後学修 1.0hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する
15 回	<b>授業内容：歯科衛生活動の現況と組織：歯科衛生研究</b> 事前学修 1.0hr：前回の講義内容の復習および、教科書 7 章を読み、歯科衛生活動の現況について学習しておく 事後学修 1.5hr：学習内容を振り返り、まとめを作成する

# 歯科診療補助論 I

開講学科等：保 | 1 年次 | 2 単位 | 開講期：後

奥村 泰彦 (おくむら やすひこ)・星合 愛子 (ほしあい あいこ)

## ■ 授業の概要

歯科衛生士の三大業務の一つである歯科診療補助を行うために必要な基本的知識を学ぶ。  
安全な歯科医療を提供するために必要な歯科医療安全管理や院内感染予防対策の方法を学ぶ。  
また、スタンダードプリコーションを基本とした感染予防対策について理解を深める。  
歯科診療の安全性の確保と効率化のために共同動作の概念を学ぶ。  
歯科診療で用いられる歯科材料の材料学的特性や取り扱い方法、生体への影響などを学ぶ。  
なお、本講座は、歯科医師又は歯科衛生士の資格を有する講師が担当する。

## ■ 到達目標 (ディプロマ・ポリシー：①/②)

一般目標：専門的な歯科診療補助のために必要な基礎的知識、態度を習得する。  
歯科診療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を習得する。  
個別目標：1. 歯科診療補助の業務内容を説明できる。 4. 共同動作の概念を説明できる。  
2. 医療安全の概念とその対策を説明できる。 5. 歯科診療室で行われる画像検査を説明できる。  
3. 滅菌と消毒の定義を説明できる。 6. 歯科用各種材料・薬品の取り扱いを説明できる。

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 評価基準・方法/フィードバック方法

定期試験、ポートフォリオ、学習態度の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

## ■ 教科書

全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版」医歯薬出版株式会社  
全国歯科衛生士教育協議会 監修「最新歯科衛生士教本 歯科機器」医歯薬出版株式会社

## ■ 参考書

必要に応じて授業で紹介する

## ■ 授業内容と授業外 (事前・事後) の学修及び学修目安時間

1 回	<b>授業内容：歯科診療補助の概念</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 1 章 診療補助の概念について事前に学習をする。 事後学修 1.0hr：診療補助の法的な変化についてポートフォリオのための資料を作成する。
2 回	<b>授業内容：医療安全</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 2 章① 医療安全について事前に学習をする。 事後学修 1.0hr：医療安全についてポートフォリオのための資料を作成する。
3 回	<b>授業内容：歯科医療における感染症の概念</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 2 章② 感染予防について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：感染症の概念についてポートフォリオのための資料を作成する。
4 回	<b>授業内容：手指衛生</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 2 章② 感染予防について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：手指衛生についてポートフォリオのための資料を作成する。
5 回	<b>授業内容：診療室の基礎知識</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章① 歯科診療の基礎知識について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：診療室の環境・構造・設備・歯科用チェアユニットについてポートフォリオのための資料を作成する。
6 回	<b>授業内容：歯科診療所における受診の流れ/患者対応の基本</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章② 歯科診療所における受診の流れについて事前に学習する。 事後学修 1.0hr：歯科診療所における受診の流れと患者対応の基本についてポートフォリオのための資料を作成する。
7 回	<b>授業内容：エックス線撮影時の診療補助</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章⑤ 画像検査について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：エックス線撮影時の診療補助についてポートフォリオのための資料を作成する。
8 回	<b>授業内容：共同動作(ポジショニング・ライティング・フォーハンドドデンティストリー)</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章③ 共同動作の概念について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：術者・補助者・患者のポジショニングについてポートフォリオのための資料を作成する。
9 回	<b>授業内容：共同動作(器具の受け渡し・バキューム・スリーウェイシリンジテクニク)</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章③ 器具の受け渡し・バキューム・スリーウェイシリンジテクニクについて事前に学習する。 事後学修 1.0hr：器具の受け渡し・バキューム・スリーウェイシリンジテクニクについてポートフォリオのための資料を作成する。
10 回	<b>授業内容：口腔内写真撮影</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 3 章⑤ 口腔内写真撮影について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：口内写真撮影法についてポートフォリオのための資料を作成する。
11 回	<b>授業内容：印象材の基礎知識</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 5 章① 印象採得について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：印象採得についてポートフォリオのための資料を作成する。
12 回	<b>授業内容：歯科用石膏の基礎知識</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 5 章② 模型の作製について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：模型の作製についてポートフォリオのための資料を作成する。
13 回	<b>授業内容：印象採得 学外実習</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 5 章① 印象採得について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：印象採得についてポートフォリオのための資料を作成する。
14 回	<b>授業内容：印象採得</b> 事前学修 0.5hr：教科書 I 編第 5 章① 印象採得について事前に学習する。 事後学修 1.0hr：印象採得についてポートフォリオのための資料を作成する。
15 回	<b>授業内容：まとめ</b> 事前学修 0.5hr：教科書全般の再学習を行う。 事後学修 1.0hr：全てのポートフォリオ資料をまとめる。